

福音書

福音書

新約聖書には、四つの福音書が伝えられていますが、最初に書かれたのはマルコによる福音書です。書かれた年代はイエスの死後だいたい六十四年頃と考えられています。マタイによる福音書とルカによる福音書は、マルコによる福音書をもとに七十年頃書かれ、ヨハネによる福音書は、もっと後の百年頃書かれました。

福音書として書かれるまでは、断片的に口伝として教会の中で伝えられていました。このような口伝は、教会の信仰生活の中で、宣教や信徒の養成・典礼といった場で、だんだんと形成されていったと考えられています。

今、私たちはどのような場面でイエスのことを伝えていくか、思いつく場面を書いて下さい。

Blank box for writing answers to the question.

このようにして見ると、イエスの伝記として福音書が書かれなかったことは明らかです。福音書の記述をそのまま史実として受けとめることはできませんが、イエスの言葉とその行動について、断片的な資料を手にすることができます。こうした資料を通して知ることができるイエスの姿こそ、私たちの信仰の力になることができます。

当時の教会の信仰告白を、ただ単に復活した神の子キリストだけにとどめないで、現実に生きたイエスに結びつけようとして福音書は書かれました。現実の生活の中で働く神の霊を私たちが見出すこ

とができるように、福音書においてイエスの言葉と行動が伝えられています。信仰は具体的に生きることでよって表わすことができますのです。過去を反省するだけでは足りません。

